

一文海披沙ニ。鍾張大王。皆用鼠鬚筆。歐陽詢用狸毛筆ト載セタリ。又鄭度カ言ヲ舉ケテ。麝毛一管。可書四百紙。狸毛可書八百紙ト云云。余常ニ純羊毫。玉立氷清等ノ筆ヲ用フ。書シ畢レハ。即コレヲ洗フ。一筆五六百紙ヲ書スヘシ。唯小楷筆二十枚以上ヲ書スルニ耐エル者ナシ。邦製ノ物ハ。屢洗ヘハ。毛軟ニ過キ。洗ハサレハ。禿シ易シ。

一獨ハ獸ノ名。猿ニ似テ大ヒニ。猿ハ群ヲナシ。獨ハ獨ナリト。五侯鯖ニ見ユ。

一鵝ノ血。善ク隔噎ヲ治ス。其方ヲ人ニ授クルニ。一トシテ差エサルヲナシト。王貽上記セリ。邦人知ラサルナリ。

一家父。家君。家翁。皆父ヲ稱スルノ言。後漢ノ侯霸ノ子孫。其祖ヲ稱シテ家公ト云フ。漢人多ク翁ヲ稱シテ公ト云フ。然レハヤハリ家翁ナリ。

一生ケル時。諱ト書スレハ。今人はヲ笑フ。併シ吳楚材ノ説ニ。漢ノ西岳廟ノ碑。樊君諱毅トアリ。毅時ニ猶在リ。是ヨリ始マルナルヘシト云。

一容齋四筆ニ。眞年官年ノ説アリ。清ニ至リテハ。尤モ甚シク。或ハ十餘年ヲ減シ。今ハ眞年ヲ云者ナシト。王阮亭云ヘリ。我邦モ同例ニテ。或書ニ。常憲公ノ時。一諸侯ニ。年ヲ問ヒ玉ヒシカハ。眞年官年。何レヲ申シ奉ルヘキト對ヘシカハ。公其欺クナキヲ感シ玉ヒ。且年ニ眞假アルヲ知リ玉ヒシト載セタリ。宋書ノ孝義傳ニハ。籍年官年ト書セリ。

一程君房ノ墨ハ。天下知ラサルモノナシ。其壯年ノ製ハ。明房トアルヨシ。

一三筆六詩ト云フアリ。如何ナルヲカト思ヒシニ。劉孝綽其兄弟二人ヲ稱シ。三ハ筆。六ハ詩ト云フヨリ始マリシヨシ。又。三眞六草アリ。王彬兄弟書ノ事ノヨシ。

一銅雀臺ノ瓦一片。四硯ニ作ルヘシト。老學叢談ニ見ユ。

一鼻祖ノ鼻ハ。始ナリ。王應麟始テ生ム子ヲ鼻子トスト云。蓋漢人ノ言ナリ。

一少正卯ノ少正ハ。官ナルヨシ。子産モ亦少正ト稱スト。清人ノ説ナリ。

一俗ニ。獅子ニ牡丹ト云フ。又猪ヲシ、ト云フ。都人猪肉ノ穢多ノ手ニ出ルヲ以テ。是ヲ喰フヲ屑シトセス。然レトモ嗜ムモノ。牡丹ト呼ビテ之ヲ喫ス。牛ヲ黑牡丹ト呼フハ。東坡ノ語ニ見ユ。一莊子ノ以天地爲棺槨。日月爲連璧ト云スヲ見レハ。連璧ハ蓋シ含玉ニ用フルナリ。後世岳漢連璧ト云フハ。我邦ノ御幣カツギナトハ。忌ムコナラン。

一般之輅。周之冕ハ。明人ノ姓名ニ見ユ。夏之時モ定メテアルヘシ。然レトモ未タ見ス。

一錢一貫ヲ。一千ト書スルモアリ。其因テ起ルトコロヲ知ラサリシニ。五代ノ時錢元瓘ノ諱ヲ避ケテ。浙人一貫ヲ一千ニ改ムト云フヨリ。始マルヲ見出シタリ。詔書ヲ制書トセシト。鮑照ヲ昭ニ作ルト。皆則天ノ諱ヲ避ケタルナリ。又王阮亭名士禪ヲ。士禪或ハ士正ニ作ル。清ノ廟諱ヲ避クルナリトハ心付ケトモ。朱竹垞ノ祖父。明ノ大傅文恪公國祚トアリシヲ。穿鑿セシニ。其人ナシ。後ニ國

禪タルヲ知ル。禪ニ作ルハ可ナリ。祚ニ作りテハ。後人ヲ誤ルコト少ナカラス。
一轡ハ。勒ニ非ス。唯石勒カ諱ヲ避クルヲ以テ。勒ヲ改メテ轡トナス。邦人猶クツワト呼フ。誤レ
リ。

一魚骨ハ。水ニサラシオキ。此ヲ細末ニシテ。味噌ニ和スレハ。味ヒ美ナリト。未タ試ミス。

一活字版ハ。宋ノ慶歷中。布衣畢昇ニ始マルヨシ。沈存中カ筆談ニ見ヘタリ。

一備忘漫鈔ニ。物ノ不似合ナルヲカクロクセヌト云。其ノ本字ハ。角角ナリ。其一點ノ違ヒニテ。相
似タルヲ以テナリト云。余思フニ。然ラス。格ト祿トナルヘシ。格ハ爵ナリ。爵高クシテ。祿少ナ
キハ。不似合ナリ。

一日光之白曰皚。月光之白曰皎。男子之白曰皙。女子之白曰皃。老人之白曰皤。草華之白曰葩。
霜雪之白曰皚。鳥羽之白曰皤。楊升菴ノ説ナリ。他ノ字ハ衆ノ知ル所。皃皤ノ二字ハ。古來多
ク用ヒス。

一唐人ノ語ニ曰。人貧智短。馬疲毛長。顏氏家訓ニ曰。學如牛毛。成猶麟角ト。皆奇而切ナリ。
一埤雅ニ曰ク。羊性前逆。牛性前順。凡馬走逆風。故曰風馬牛。又曰。牛之聲曰牟。馬之聲曰噉
噉噉ト。牟ハ言ヲ待タス。噉噉噉ハ。西人ニ非サレハ下シ得ス。

一省百錢。長百錢アルコトハ。梁ノ武帝普通中ニ。錢ヲ鑄テ。嶺東ハ八十ヲ百トシ。是ヲ東錢ト云ヒ。
江郢ハ。七十ヲ百トシ。長錢ト云フト。コレヲ始メトシ。唐ノ末。昭宗ノ時。八十ヲ定メテ百トセ
リ。五代漢ノ隱帝ノ時。又三錢ヲ減シ。七十七ヲ以テ。百トナシ。之ヲ省百錢ト云フ。米ハ五代漢
ノ制ニ因リテ。官ニ輸ス者ハ。八十或ハ八十五ヲ用フ。然レトモ諸州ノ私用ニハ。四十八錢ヲ用ヒ
タリ。太平興國二年ニ。始メテ民間ニ詔シテ。緡錢定メテ七十七ヲ以テ百トス。コレヨリ後。公私
皆然リ。コレヲ省錢ト名ツクル由。從來我都會。九十六錢ヲ百錢トスルコト。雲助ナト。財ヲ分ツ
時。一タヒ分チテ。四十八錢トナシ。二タヒ分チテ。二十四錢トナシ。三タヒ分チテ。十二錢トナ
シ。四タヒ分チテ六錢トナシ。五タヒ分チテ三錢トナス。故ニ然スルナラント思ヒシニ。ハカラサ
リキ。漢土モ亦此例アラントハ。長錢ノ字ハ。俗用フル所。省錢ノ字ハ。未タ用フルコト聞カス。
九十六錢ノ初メハ。天文ノ頃。上杉憲政ノ家老長尾意玄ニ出ルヨシ。
一俗ニ。サワクヲ周章ト云フ。靈光殿ノ賦ノ東西周章ト云フニ。本ツクナラン。李翰カ注ニ。周章
驚視貌。
一胡蝶胡麻胡牀胡弓ナトノ。胡ノ義ハ。如何ト問ヒシ者アリ。余答ヘテ。胡ハ小ノ義ナラン。曾テ漢
人ノ説ヲ見シコアレハ。既ニ忘レタリ。蓋夏ヲ以テ大トシ。胡ヲ以テ小トスルノ義ナラン。
一骨董。舊ハ古董ニ作ル。東坡ヨリシテ。骨董トナリ。朱文公ハ汨董ニ作ル。然レハ本定字ナク。音
ヲ以テ行フモノカ。

一人語「長安好」。出門西笑。是レ西笑ノ字ノ起ルトコロ。唐ノ時御史臺。唯南牀尤モ貴シ。會聚ゴトニ。南牀笑ハサル片ハ。諸御史敢テ笑ハスト云フ故事アリ。然レハ南笑ト云フ熟字モ。亦用フヘキカ。

一蘭。一名ハ待女花。

一人死爲鬼。鬼死爲靈ト云フハ。古來傳フル言ナレモ。人ノ死スルハ。人之ヲ見ル。鬼ノ死スルハ。鬼コレヲ見ル。靈ノ字ハ。鬼ノ製スル所カ。妄誕笑フヘシ。

一花押ハ。何レノ時ヨリ始マルコヲ知ラズ。疑ラクハ宋ニ始ルナラン。癸辛雜識ニ記ス。宋十五帝御押。太祖圖立。太宗〇仁。眞宗〇。仁宗〇。今人ノ用フル所ト遠カラス。又石林燕語ニ。集花押。爲一書者。唐謂之花書。

後日知録ヲ見シニ。集古錄有五代時帝王將相等署字一卷。所謂署字者。皆草書其名。今俗謂之畫押。不知始於何代トアリ。

一鰾魚產青菜海上。珍異爲海族之冠。南史有餉三十枚者。一枚直千錢。是即今ノアワビナリ。香祖筆記ニ。鰾今人作鮑則訛。豈輜輳車中物乎ト。我邦。昔シハ漢土ノ訛ヲ受ケテ。鮑ニツクル。今ハ蟹ニツクル。蟹ハ。康熙字典ニ。其義未詳ト書セリ。併シ鰾ニハ。確當ノ字ナリ。此物乾カシテ。漢土ニ送ル。海參ト並フ。鮑ノ字。モト清商ヨリ長崎ニ傳ヘ。長崎ヨリ世上ニ布クナラン。

一異聞錄ニ。玄宗八月五日生ル。宋廣平ノ表ニ。月維仲秋。日在端午ノ句アリ。凡月ノ五日。皆端午ト稱スヘシト云々。余思フニ。廣平ハ五月五日ヲカリ用ヒタルナラン。

一七夕。六タヲ用フルコトハ。由來久シ。宋ノ太宗ノ時話シテ。以七日爲七夕。著之甲令ト見エタリ。我邦モ多ク六タヲ用フ。遣唐使ノ頃始リシニヤ。

一凡ツ書牘。尊者卑人ニ與フルヲ。不具ト云ヒ。卑人尊者ニ奉ルヲ。不備ト云ヒ。朋友ハ不宣ト云フ。東軒筆錄ニ見エタリ。今ハ別ナク使フナリ。

一字ノ邦訓ハ。猶字說ノ如シ。一一ハ合ハサレモ。推シテ知ルヘキ者モ少ナカラス。蜘蛛ヲクモト呼フ。雲ノ義ナルヘシ。其網。雲ニ似タルヲ以テノ故カ。然レハ雲ハ母ナリ。蜘蛛ハ子ナリ。此類甚多シ。蠅ヲハイト云フ。灰ナルヘシ。蠅ノ水ニ溺レテ死スルモノ。灰ヲ得レハ。皆活ク。松ヲ待ツト云フ。後ノ葉生スルヲ待テ。前ノ葉落ツルナラン。竹ヲ猛ト云ハ。箭ノ義ナルヘシ。錢。菊。蟹。蟬。雁。茶等ハ。唐音ニ沿リテ。未タ訓ヲ得サルナリ。

一漢人ハ。音ヲ以テ用ヲナス。故ニ音ハ精クセサルヘカラス。邦人ハ訓ヲ以テ用ヲナス。音ハ菅江ノ二氏。既ニ異ニ。又西土ノ音ニ比スレハ。皆異ナリ。故ニ東ノ韻ノ字ナレハ。大抵。トウ。チュウ。フウ。イユウ。キユウ。リユウ。コウ。ツウ。ホウ。キョウ。ソウ。モウ。ロウ。ノウ。ヨウノ内ニ叶ヘハ。可ナリ。必スシモ細論セス。タトヒ我トウト讀テモ。漢人ハトント云フ。然レ

ハ我邦ノ音ハ。トウヲトク。ロウヲロクト。讀マサレハ。乃チ可ナリ。訓ハ精密ニセサルヘカラス。在者夾挿望臨ノ如キ。皆ステカナヲ以テ義理ヲ分ツヤウニシタリ。疎畧ニスレハ。字義ヲ失フナリ。」

一西人。伊呂波ヲ伊魯華ト書ス。

一日本國甲螺ト。漢人ノ語ニ見エタリ。柴六郎曰ク。カシラノ唐音ナリ。

一天主臺ハ。信長ノ安土ノ城ニ始マルヨシ。雪蹈ハ。利休ニ始マル由。

一前日高麗橋通りヲ過キシニ。或看板ニ。鹽瀬氏トアリ。今日乙卯九月十日備忘漫鈔不知何人所著ト云書ヲ見

シニ。鹽瀬氏ハ。林和靖カ子孫ニテ。其先林淨因。唐土ニテ能ク饅頭ヲ製シタリ。曆應中歸化シ。

南都ニ住シテ。饅頭ヲ作ル。是レ我邦饅頭ノ權輿ナル由。

一松下見林ノ説ニ。片假名ハ。吉備公ヨリ始マルヨシ。

一番椒ハ。文錄ノ役。朝鮮ヨリ採リ還ルヨシ。秋海棠ハ。南京ヨリ渡リシヨシ。

一難有ノ字ハ。法華經ニ出ルヨシ。併シ官家ニハ。辱ナシト云テ。難有ト云ハサルヨシ。

一僧。酒ヲ般若湯ト云ヒ。魚ヲ水梭花ト云ヒ。雞ヲ鑽雞菜ト云フハ。志林ニ見ユ。我邦ノ僧家ハ。別

ニ名ヲ製シテ。魚ヲ亡者ト云ヒ。鮎ヲカミソリト云ヒ。鯛ヲ首座ト云ヒ。鮪ヲ總身トモ。天蓋トモ

云ヒ。鱸ヲ手巾ト云ヒ。鯉魚ヲ獨鈷ト云ヒ。又數珠木ト云フヨシ。備忘漫抄ニ見エタリ。

一大阪ノ俗。元日中元朔望等。代人ヲ以テ。名刺ヲ交友ノ家ニ投セシム。余其多事ナルヲ厭フ。併シ

衆ニ違フヲ欲セス。二十年來仕來レリ。然ルニ漢土ニモ此例アルコニテ。癸辛雜識ニ。節序交賀之禮。不能親至者。每以束刺。僉名于上。使一僕。徧投之。俗以爲常ト。又堯山堂外記ノ明人ノ條ニ。京師每正旦。主人皆出賀。惟置白紙簿并筆硯於几上。賀客至。書其名。無送迎也トアリ。是亦大阪人ノ常ニ爲ル所ナリ。

一今人紙ニ番ノ大小ト云フ。通雅ニ。紙幅謂之番。又唐ノ蕭穎士。夢ニ人授紙百番ト。番ハ枚ナリ。清人ハ幅或ハ張ヲ用フ。

一今人其師ヲ書スルニ。多ク翁ヲ以テス。是ハ不敬ノ辭ナリ。他人ニ向テ稱スル時ナト。用フルハ可ナリ。趙執信王阮亭ヲ毀ルニ。阮翁ト書セリ。翁ハ尊稱ナレト。先生ト云フニ比スレハ。賤メタル辭ナリ。或書ニ。朱昂梁周翰ト。楊大年ト同シク。翰林學士トナル。朱梁年老ヒテ。楊ハ甚タ少シ。楊常ニ之ヲ侮リテ。翁ト稱シテ。先生ト稱セス。二人怒リテ曰。翁ト云フモ。亦得カタシ。汝試ニ翁ト云ハレテ見ヨト云フ。後楊果シテ五十ナラスシテ卒スト云云。然レハ五十ヨリ前ハ。翁ト稱シカタキニヤ。又翁ノ先生ヨリ卑稱タルヲ。知リヌヘシ。

一邦俗。文盲ニテ。僧ナト。某ノ寺再拜。留守居ナト。某姓再拜ト書スルヲ多シ。明代。魏國公新舉人ヲ宴スルニ。魏國公拜ト書シ。又蕃王ハ。蕃王拜ト書スルヨシ。傲ナレトモ。寺拜姓拜スルニハ勝ルヘシ。

一當今手束ヲ書スル紙ヲ。半切ト云フ。幅六七寸。二百年來ノコナラント思ヒシニ。宋淳熙末。朝士以小紙高四五寸廣尺餘。相往來。是謂手束ト記セリ。是半切ノ權輿ナルヘシ。

一本邦書ヲ版ニ刻ムコトハ。二百四五十年來ノコトカト思ヒシニ。今日乙卯九月十日倭事始ニ。土御門院元久三年。法然上人選擇集ヲ刻セシヲ。山門訴ヘテ。謗法ノ書ナリ。其印版可令燒失由。奏聞仕畢ト云コトヲ引キ。又其跋ニ。高師直力版行セシ佛書アルヲ引キ。又周防ノ山口ニモ。古キ版アルヨシヲ載セタルヲ。見出シタリ。

一肩衣ハ。松永彈正ヨリ始マルト聞ケリ。思フニ。其ノ體裁必ス彼レカ爲ワザナラン。又麻上下ハ。天正中ニ始マリ。月額ハ。北條ノ時始マルヨシ。

一茶ノ湯ハ。文明ノ時。南都稱名寺ノ僧珠光ニ始マルヨシ。趣キハ禪ヲ本トシ。禮ト和トラ折衷スルヨシ。今ハ唯奢リノ具トナレリ。

一古今原志ニ云。元ノ世祖楮ヲ製シテ。鈔トナシ。印ヲシルシテ。錢ノ用ニ代フト。是今ノ銀札ノ始メナラン。

一鳳潭。弘法ヲ罵リテ呆子トナス。

一兩伯陽曰。呼廟門爲華表非也。思フニ。詩ニ作ルハ苦シカルマシ。

一我邦。ト法傳ハラス。神后韓ヲ征スルトキ。ト者十家ヲ對州ニ留ムト。知ラズ猶存セシニヤ。

一知行千貫ト云フハ。今ノ二千五百石ニ當ルトモ。又永樂錢一千文。銀六十錢ニ當テ。米一石ヲ六十錢ト定メ。一貫即チ一石ナリトモ云フ。茶翁ノ說ニ。一貫ハ。右ノ二說ヨリモ餘程多シト見エ。七千五百貫ト云領分ニ。城五个所ニ夫レ夫レ戍兵ヲ置キシコアリ。ソレニテ知ルヘシト云フ。

一我邦大成殿ニ。官ヨリ御太刀ヲ進セラルコトアリ。如何ノ例ナリヤト疑ヒシニ。清康熙帝ノ時。特賜御用曲柄傘於大成殿ト云フ文アリ。然レハ和漢同シキナリ。

一唐ノ開元中。孔子ノ子孫ヲ。文宣公ニ封ス。宋ノ仁宗ノ時ニ至リ。改メテ衍聖公ニ封ス。元明清之レニ因ル。

九桂草堂隨筆卷之七

一 天地ノ間。唯水火ノ二氣ナリ。二氣ノ相激スル。上ニ於テスレハ。雷霆トナリ。下ニ於テスレハ。地震トナル。其理一ナリ。

一 張獻忠將殺朝紳數十。雷電大至。賊曰。我何畏雷。發礮空中。雲散雷止。諸人皆遭害云々。明人之ヲ記ス。其意天。賊ノ殘刻ヲ怒リ玉ヘ。人多勝天ノ理ヲ以テ。賊ノ凶餓ヲ避ケ玉フト云フニ似タリ。予謂フ。教ヲ立ツル爲ニハ。天ノ怒ト云フモ可ナリ。併シ事實ヲ以テスレハ。雷電アル。必シモ諸人ノ爲ナラス。陰陽ノ氣。空中ニ鬱圓スレハ。雷電發ス。下ヨリ礮ヲ發スレハ。即チ雷電ヲ助ケ。速ニ其氣ヲ消散セシム。故ニ雲散シ雷止ム。恠ムニ足ラス。凡久早陰雨。暴雷震電ノ時。空中ニ向テ。礮ヲ發スル數百ナレハ。必ス空氣ヲ動シ。中和ヲナス。人多勝天トハ言ヒ難シ。予常ニ陰陽ヲ調和スルノ說ヲ唱フ。人皆信セス。

一 嘉永辛亥ノ年七月。府内ニ游ヘリ。此時陰雨甚シ。府内侯ヨリ。柞原ノ宮ニ事アラントセシニ。余建議シテ。人事ヲ盡シテ後。天ノ祐ヲ祈ルヘシ。今人事未タ盡サハル處アリト云。公何事ヲ人事ト云フヤト問玉ヒシカハ。余答テ。前日雨ノ來ル所ヲ視ルニ。雲多ク湯ノ岳。鶴見岳ノ東南ヨリ起リ

テ甚低シ。然レハ此處ノミノ雨ナリ。此處天地ノ氣未タ通セサルナリ。首ニ此ヲ通スヘシト云。何ヲ以テ是ヲ通スルヤト。余答テ。先高岡ノ上ニテ。打上ケ數百ヲ放ツヘシ。必ス雲霧ヲ穿ツテ。上下ノ氣ヲ通スヘシ。左スレハ。今數十日微風モ吹カサレハ。必ス風ヲ起スヲアラン。是氣ノ通スル徵ナリト云。公余カ説ヲ用ヒ玉ヒシカハ。五六十發ノ時。風漸ク起リ。翌朝ヨリ快晴セリ。公大ニ恠ミ。何ヲ以テ其理ヲ知リシヤト問ヒ玉フ。余董仲舒カ春秋繁露ヨリ工夫仕出シタリト云。

一 山海湖川ハ。皆天地ノ大機關ナリ。妄ニ人工ヲ以テ増減スヘカラス。方今湖海ヲ埋メテ。新田ヲ造ルヲ流行セリ。是ハ一時ノ利ヲ謀テ。萬世ノ害ヲ遺スナリ。譬ヘハ冬モ水アル深田アリ。内ニ池ヲホリ。其水ヲ一處ニ聚ムレハ。其傍ハ皆乾テ良田トナル。右ノ池ヲ埋ムレハ。其水マタ舊ノ如ク。四傍ニ返リテ。又深田トナルカ如シ。凡ソ地ニ水多ク。其潤ヒ數十里ニ瀰漫スル處ハ。天ヨリ必湖渚ヲ作りテ。其水ヲ一處ニ聚メ。他ノ地ヲ乾カシム。其理ヲ知ラスシテ。埋メテ田トスルハ。其水氣泄ル、所ナク。種々ノ變ヲナス。猶留飲アル人。無理ニ食物ヲ以テ。是ヲ壓ユレハ。汗ヲ起シ。頭痛ヲ發シ。目ヲ病マシメ。齒ヲ痛ムルカ如シ。故ニ水脈ヲ無理ニ壅キタル地ハ。陰雨ノミナラス。或ハ地震。山崩。夏ハ雷多ク。冬ハ雹多ク。皆水氣ノ留滯ヨリ生スルナリ。如何程新田ヲ造ルトモ。古田ノ方災害多ク。或ハ暴漲ノ時。水容ル、所ナク。田上ニ汎濫スル故。五穀損耗。平均ニ勘定スレハ。減有リテ。増無シ。

一 天地ノ理。造化ノ神算至ラサル處ナシ。然ルニ人ノ小智ヲ以テ。其舊ヲ改ムレハ。必ス限リナキノ害ヲ生ス。川ノ海ニ入ル處。砂積リタルトテ。新田ヲ作レハ。上流ノ沙日ニ積リテ。川淺ク。舟路絶ヘ。又洪水ノ時。川淺キヨリシテ水溢レ。故田ヲ損スルヲハ。人ノ知ル處ナリ。年々洪水アリテ。田畑ヲ浸ス處。堤防ヲ固クシテ。水ヲ防ク時ハ。其利立トコロニ見ユルナリ。併シ數十年ノ處ニテ會計スレハ。損益ナク。反テ財ヲ費シタル分。損ニナルヲアリ。其故ハ。右等ノ汗下ナル地ハ。元地ニ膏腴少ナク。造化ヨリ汗濁ヲ其地ニ集メテ。糞トナス。三四年ニ。一度旱魃アレハ。一度ニ三四年分ヲ收ムルノ豐饒アリ。然ルヲ水ヲ防キトメル時ハ。地ノ膏薄クシテ。穀殖セス。初メ堤ヲ作リシ時ハ。本ノ膏存セシ故。益大ニ見ユル様ナレ共。數年ノ後ハ。年々ニ膏薄ク。物生セス。却テ三四年一度ノ豐饒ニ如カサルヲアリ。又多ク材木アル山。之ヲ伐リ荒セハ。陰氣散シ。雨少ク。水枯レ。暴雨ニハ沙流れ出テ。川ヲ埋ムルヲアリ。總テ山ノ樹木多キハ。土沙厚キカ故ナリ。世ノ所謂山潮ハ。蛟ノスル處ナト、云フハ。漢人迂惟ノ説ニテ。實ハ土砂厚キ地ノ樹木ヲ伐リテ。後ニ植繼ヲセサレハ。其伐リ株ノ地中ニアルモノ。年ヲ經テ腐リ。其隙ニ雨澆クヨリシテ起ルナリ。故ニ舊ト木ノ生シタル地ハ。必ス速ニ木ヲ植繼クヘシ。又樹木生セサル山ハ。下ニ岩石アリテ。土砂薄キカ故ナリ。岩石ハ。雨水ヲトムルノ處ナシ。故ニ地ヨリ。多クシバノ類ヲ生シテ。雨水ヲ蓄フル様ニシタルナリ。山陰作伯雲石ノ地ナトハ。其土沙淺キ處ハ。鐵アリトテ。之ヲ鑿リ崩ス故。地皮

剝ケテ。雨水ヲ含ムノ勢ヒナク。水枯レ。下ニ新田多ク出來レ。故田ハ必ス枯渴ス。此クノ如キ地ハ。速ニ草ヲ植ユヘシ。總テ木アルノ地ハ。木ナカルヘカラサルノ理アリ。草アルノ地ハ。草ナカルヘカラサルノ理アリ。土沙アル地ハ土砂ナカルヘカラサルノ理アリ。岩石アル地ハ。岩石ナカルヘカラサルノ理アリ。溪水アル地ハ。溪水ナカルヘカラサルノ理アリ。一トシテ。其地ニ其物アリテ。其理ナキハナシ。然ルヲ其木ヲ伐リ。其土沙ヲホリ。其岩石ヲ摧キ。其溪水ヲ塞クハ。必ス天地ノ妙機壞レテ。或ハ陰雨シ。或ハ旱シ。或ハ水漲リ山崩レ。種々ノ害ヲナスナリ。岩石ハ無用ノ様ナレ。之ヲ斬リ割リテ取ルハ。地脉ノカラクリ變シテ。水ノ出マシキ地。水ヲ出シ。水ノ出ツヘキ地。水ナキ様ニナルヲアリ。岩石モ亦不可思議ノ用ヲナスモノナリ。

一大地ノ理。何モ人身トカハルヲナシ。草木ハ鬚髮ナリ。水ハ溺ナリ。湖海ハ腹ナリ。土砂ハ皮肉ナリ。岩石ハ骨及齒ナリ。金銀銅鐵ハ精髓ナリ。山嶺峰巒ハ鼻耳ナリ。其竅アルハ。鼻耳ノ孔アルカ如シ。雨露ハ汗ナリ。暴漲ハ暴瀉ナリ。風ハ噫氣ナリ。地震ハ轉筋ナリ。一ノ活物ナラサルハナシ。些子モ。人工ヲ以テ。常ヲカユルハ。必ス害アリ。草木ハ鬚髮ナリ。剃テ又生スルハ好シ。抜クハ不可ナリ。壑ハ決シテ埋塞クヘカラス。之ヲ埋塞スレハ。耳鳴リ鼻ツマルカ如ク。必ス上逆シテ。暴瀉轉筋等ノ病ヲ發スルナリ。陰雲ハレサル時ハ。打揚ナトシテ。是ヲ破ルハ。猶上氣閉塞シテ。汗ノ出テサル處ニ。鍼ヲ透シ。灸ヲスヘテ。其氣ヲ環通スルカ如シ。瀑布常ニ垂レテ絶ヘサルハ。

鼻汁ノ如ク。天地ノ氣ヲ融通スル處ト見ヘタリ。若シ是ヲ停メタラハ。別ニ惡症ヲ發スヘシ。往々痔ヲ治シテ。眼疾ヲ發スル者ヲ見ル。猶川尻ニ新田ヲ作リテ。上流ニ水難アルカ如シ。池沼湖渚ニ土砂ヲ實スレハ。其地ニ雨雹多キハ。大食腹滿テ汗出ルカ如シ。

一鬚ヲ拔クハ。齒早ク落ツ。猶木ヲ伐リ盡セハ。土石流動スルカ如シ。筑前ノ雷山ニハ。風穴アリ。他ノ山ニモ。往々アルナリ。是ヲ攪セハ。風起ル。猶鼻孔ニサハレハ。クツシヤミ出ルカ如シ。然レハ雲州ナト。不時ニ風勁キハ。湖ヲ埋メタルヨリシテ然ルヲ。明ラケシ。

一山陰ハ。雨多キノ地ナリ。其田地。水ヲ用フルヲ。山陽諸國ニ比スレハ。數倍ス。然ラサレハ。燥クヨシ。左スレハ。其多雨ハ天ノ良能ナリ。因テ考フルニ。我郷日田ナトハ。四面皆山。夏ノ比ニモ。濃霧雲ノ如クニシテ。午前マテモ曳クヲアリ。是ハ山高ク風少ナク。日光ノ激射強キ故。成ダケ霧ヲ以テ蔽護セシムルノ理アルナラン。總テ四方山ニテ。中ニ溪水アル地ハ。必ス霧深シ。其理ハ必スアルヲナリ。

一天地ノ大機關ハ潮ナリ。人身ノ氣脉。風雨ノ興滅ナト。潮ニ随フモノ多シ。然レハ天地氣ノ消息屈伸。皆是ニ由ルナリ。然ルニ土沙ヲ埋メ。潮道ヲ塞キテ新田ヲ作ルハ。猶人ノ呼吸ニ障ルカ如シ。必ス不慮ノ變出來テ。物ヲ害スルヲ多カラン。

一余カ友ニ。天下ヲ遍歷セシモノアリ。其說ニ。西國ハ道路迂曲シテ。田畝ヲ避クル處多シ。常陸ヨ

リ北或ハ西ノ諸國ハ。田畝狹金ニシテ。道路ヲ避クル處多シ。因テ考フルニ。西國ハ土地早ク闊ケテ。處々ニ酋長アリ。王室始メテ其地ニ道ヲ通セシキ。其成邑アルニ因ルナリ。東北ハ人少ク地廣シ。首ニ路ヲ作リテ。其地ヲ闢キシナラン。今世ノ道路ハ。定メテ三百年來ノト察スレハ。蓋古ニ仍リテ修ムルナラント云ヘリ。余案スルニ。此說當レリ。上野上總常陸等。大國ト稱シテ。親王ニアラサレハ。太守ト稱スルヲ得ス。是モ東北ニ限リタル事ニテ。西南ニハ其例ナシ。肥後ヲ大國ニ准スルトアレハ。太守ト稱スルヲキカス。王室ノ西南ト東北トヲ處スルユヘン。異ナリト知ルヘシ。

一老石工ノ說ニ。長門ノ國。元ハ豐前ニ連ナリ。穴門ト稱セシヲ。神后韓ヲ征セシ時。軍船ヲ通スルタメニ。盡斷シタリト。申傳フレ共。甚イフカシ。實ハ鴻荒ノ世ヨリ。分レタルナラン。其證ハ。石ノ形首尾アリ。其末タ人ノ手ニサハラサルモノ。九州ノ石ハ其首悉ク西南ニ向フ。蓋ニ豐ヲ以テ本トスルナリ。赤關ヨリ奥羽ニ至ルマテハ。悉ク東北ニ向ヒタリ。蓋防長ヲ以テ本トスル也。穴門ハ。蜻蜓洲ノ大機關ニテ。天ノ地脉ヲ分ツ所以ト見ヘタリト云フ。奇說ナリ。故ニ録ス。

一大阪ハ。三百年前ハ。在處ノ様ニ聞ケリ。併シ王代ノ時ヨリ。淀川ノ南北ニ。游女等アリテ。地繁華ナリシハ。其時ノ文ニ見ヘタリ。其後文明年中ニ。僧景三カ望海亭ノ記ニ。海上ノ繁華ヲ述ヘタリ。然レハ必シモ寂寞ノ在處ニテモアルマシ。

一天草ナト。一揆ノ時ハ人口四萬。今ハ十五六萬モアルヨシ。惣シテ海邊漁村ハ。人口大ニ増シ。山中高寒ノ地ハ。アマリ増サス。其理必スアルヲナルヘシ。吾未タ知ラス。或人ノ說ニ。山中ハ寒シ。寒キ地ハ瘡起リ易シ。瘡氣ノ人ハ。生産ニ艱ナリ。海邊ハ暖ナリ。且漁人カラタヲ運動スルヲ多ク。瘡積少シ。故ニ兒ヲ産シ易シト。不審シ。余思フニ。今ハ山中ヲ去テ。海邊ニ赴ク人氣ナリ。人ノ好ム處ハ。天必ス此ニ從フ。故ニ人ノ多ク出ツル方ニ。多ク出タシ。少ク出ル方ニ。少ク出スノ理モアルナラン。

一筑前ハ。享保中餓死ノ人多ク。民戸減シ。今ニ舊ニ復セサル故ニ。撫育方ト云フ職ヲ儲ケ。夫アラサル婦人。賑ミテモ。墮胎ヲ禁シ。人ヲ増スヲ以テ要務トナセリ。又吾豐後ノ南鄙。佐伯等。山陰ノ僻地等ハ。トカク地狹ク人多キニ困リ。謀テ多子ヲ育セサルヲ務トスルヨシ。是等ハ。何トカヨキ交易ノ仕方有ルヘキニ。未タ工夫セサルニヤ。

一本邦ノ古跡古物ト稱スル者。三様アリ。古ハ神ナリ。中古ハ佛ナリ。源平以後ハ武人ナリ。予最モ佛以前ノ古跡ヲ探ルヲ好ム。我郷山岡ノ陽ニ向フ者。必ス小洞アリ。文化ノ末。縣令鹽谷君。永山ノ路ヲ修ル時。新ニ榛莽ヲ開キ。洞數十ヲ得タリ。往々骸骨ヲ見ル。即佛以前ノ物ナリ。我郷景行天皇ノ鏡坂ハ。和名抄ニ出テ。人口ニ膾炙スル處。之ニ次クモノハ。護願寺ノ木佛ナリ。唯肩背以上ヲ餘ス。然レハ。偉大目ヲ驚カス。其古色聖武ノ比ト思ハル。寺ノ側ニ寺内ト名ツクル村ア

リ。寺境ノ廣漠想フヘシ。千年前。我窮郷ニ至ル迄。是等ノ大伽藍アルハ。佛力ノ廣ク及フヲ知ヌヘシ。是ニ次ク者ハ。多賀城山ノ神將ナリ。高七八尺。傳フ大倉氏造ル所ト。亦八九百年ノ物ナリ。

一我郷。モトハ國ナリ。或ハ吡哆ニ作ル。蓋音ヲ以テ譯シテ定字ハナキナルヘシ。其湖水タルハ。山岡ノ勢ヲ以テ之ヲ測ルニ。疑フ容レス。其古書ニ見ユルハ。風土記和名抄ヲ以テ始トス。又尤遠ク聞ヘタルコハ。朝鮮申叔舟ノ海東諸國記ニ曰。大友殿源氏。世襲所居。民戸萬餘。見兵二千。親常。大友殿異母弟。辛卯年遣使來朝。書稱日田郡守護修理大夫大藏親常。○國光。庚辰年遣使來報我漂流人。丁亥年。又遣使來賀觀音現像。書稱豐後日田郡大守源朝臣國光。

一我郷ノ湖水ノ時ノ事ハ。知ルヘカラス。予疑フ。景行天皇駐蹕ノ時。地形鏡ニ似タリトノ玉ヒシハ。蓋湖ヲ望ンテノ言ナルヘシ。然ラスンハ。其時新ニ湖口ヲ決シ。今ノ筑後川トナシ。新ニ數萬畝ノ地ヲ開キシ故。帝親ヲ巡檢シ玉フナルヘシ。帝鏡阪ニテ。地形ヲ御覽アリテ。湖口ヲ決セシメ玉フモ測リ難シ。我郷四面皆低岡ナリ。其脚悉ク田際ヨリ突起。巖骨露レ出ツ。其水ニ濱スルコト疑ナシ。岡上皆平地アリ。平原凡八所。之ヲ合スレハ。岡下ノ平地。東西四十丁南北五十丁ナルニ比スレハ。二倍スヘシ。高瀬津江杯。皆水ニカ、リタル名ナレハ。今ハ山上ナリ。又舟繫キ石トテ。山上ニアルヲ聞ケリ。然レハ。景行ヨリ後。湖ヲ決シタルナラン。西北二串。君迫。才田。小迫ノ諸郷。東北石松。有田ノ諸郷。東南池邊。大清水ノ諸郷。西南截畑。高瀬ノ諸郷。其山勢繞緯トシテ。必ス地勢低窪ノ所アリテ。他山ト隔斷シ。別ニ一區ヲナスヲ見レハ。湖皆ノ犬牙ノ如ク。山岡ノ間ニ斗挿セシヲ知ヌヘシ。若此時八所ノ岡上ニ。人家ヲ置キ。湖ヲ下瞰セハ。其勝槩宇内無雙ナルヘシ。

一安政丙辰ノ二月。玖珠寶泉寺ノ溫泉ニ游フ。雨降リテ無聊ニ堪ヘズ。逆旅ノ主人ニ。書ヲ借リシニ。玖珠郡舊事記ト云ヘル。古寫本ヲ示セリ。素ヨリ蕪穢俚鄙ニテ。記スルニ足ラサレトモ。三百年前ノ事。彷彿ト推シ知ルヘキニヨリテ。其ノ意ヲ譯シテ。十ノ一ヲ掲グルコト左ノ如シ。宇多天皇寬平庚戌ノ歲。清原正高。勅ヲ奉シテ。玖珠ニ下ル。其子孫數百年。小田山田ノ地ヲ領ス。今ノ一萬石餘ノ高ニ中ル。時ニ民戸四百八十有九。寺三區。祠五宇。建久五年丑歲。大友一法師丸豐後ヲ領スル時。正高ノ子孫。其臣タルモノ二百餘人。後小松天皇至德三年丙寅八月十五日ヨリ。九月十五日マデ。雨ヤマス。洪水汎濫。人畜皆山ニ登ル。死スルモノ八百餘人。田畠悉ク沉沒ス。大友氏ヨリ明年嘉慶元年丁卯六月マテ。飢民一萬五百餘名ヲ扶持ス。又官ノ財ヲ以テ。田畠ヲ修復シ。十二シテ二ヲ稅スルコト五年。此時玖珠ヨリ大道ヲ開キ。日田郡大太郎へ通ス。康應元年己巳歲。始メテ村ノ中ニ町ト云フヲ始マリテ。列ヲ成シテ家ヲ立ツ。郡ニ奉行ヲ置ク。應永十一年甲申ノ三月。町ノコト成就ス。凡ソ十箇所。一ニ曰ク。野上釘ノ町。百五十戸。二ニ曰ク。町田竹下町。百九

十戸。三二曰ク。粟野牧口町。八十餘戸。四二曰ク。惠良町。二百餘戸。五二曰ク。二日市町。六十戸。六二曰ク。森角埋町。百八十戸。七二曰ク。大田町。百五十二戸。八二曰ク。四日市坂下町。九十三戸。九二曰ク。谷ノ瀬町二百六十戸。十二曰ク。魚返名倉町。百九戸。玖珠ノ地。温泉十五箇所。名山ト號スルモノ九ツ。一ニ曰ク寶山。二ニ曰ク川上嶽。三ニ曰ク小倉山。四ニ曰ク小仙山。五ニ曰ク牧羊山。六ニ曰ク鏡山。七ニ曰ク截株山。八ニ曰ク萬年山。九ニ曰ク涌蓋山。寺百六十八區。祠九十八宇。川九ツ。一ニ曰ク町田川。二ニ曰ク野上川。三ニ曰ク古後川。四ニ曰ク萬年川。五ニ曰ク引治川。六ニ曰ク松木川。七ニ曰ク宇津浦川。八ニ曰ク杉河内川。九ニ曰ク森川。邦産年魚川苔大粟牧馬。運上一所銀二匁。野山一町銀三分。漆百斤銀二分。茶百斤銀一分。年魚梁一所銀二分。投網一手銀六分。鐵炮一挺銀一匁。玖珠一郡高二萬八千三百五石。田免平均二ツ九釐六毛。畑免平均二ツ六毛。人口二萬九千二百八人。右大友義統公御代ノコト云。余曾テ我日田ノ縣志ヲ修セント欲ス。古記ナキニ困シム。玖珠ノ事。若シ此錄微リセハ。後世安ソ知ルモノアラシヤ。此記既ニ蠹蝕シ。字缺ケタリ。恐クハ一旦泯滅ニ歸センコトヲ。故ニ錄ス。此錄ニテ。大友氏ノ時租稅輕キコト知ルヘシ。今ハ陵谷變遷シテ。往時ノ町ト云フモノ。田トナリ。又新規ニ村落ヲ成セシ所モ多カルヘシ。網ヲ數フルニ手ヲ以テスルヲ。奇ニシテ當レリ。一源順和名類聚抄ハ。當時ノ書ニシテハ。有用ノ著ナリ。唯考證未タ足ラサルカ。又ハ寫誤カ。其郡

國ノ部。我カ豊後日高郡ノ村ニ。安按伊美來繩田染津守トアリ。又海部郡ノ村ニ。日田在田夜關亘理及連石井トアリ。此レ大ヒナル誤リニテ。日高郡ハ。即チ日田ナリ。日田ヨリ以下ノ五村ハ。即チ今我郷ノ村落。今ナヲ存スルモノ。又國崎ノ部ニ。武藏來繩國前田染阿岐津守伊美トアリ。全ク寫誤ニテ。重複スル事知ルヘシ。

一我郷石井。五馬市。及連。關等ハ。豊後風土記ノ載スル所ニテ。千年前ヨリ名顯レタル地ナリ。而シテ民口稀少。豆田隈ハ。尤繁喧ナル地ナレバ。昔ノ記ニハ見ヘス。玖珠郡ノ記ニヨレバ。大友氏ノ時。玖珠ノ諸町ヲ建立スル時。豆田隈モ一時ニ立ルナラン。然レハ前ノ諸郡ヨリ。人家ヲ移シテ聚メシ者ナラン。又昔ハ山中人多ク。我郷杯ハ千年前。今ヨリハ却テ戸口多ク。今ハ其人稍海邊ニ移リ行キシト。大友氏以來。兵戈ニテ。戸口減少セシヲ。推シテ知ルヘシ。五馬市杯ハ。豆隈ノ平地ニ比スレバ。殊ニ荒僻ナレバ。往古ハ極メテ繁華ノ地ナルヘシ。獨リ備中二萬ノ郷ノミナラス。我郷モ亦然リ。

一古時ノ關ハ。多ク國ノ出入ノ口ニアリ。茶山先生。下ノ關。上ノ關ハ。古名ナルヘシ。然ルニ中ノ關ト云事ハ。近頃俗人ノ云出セシ事ナラント。云ハレタリ。我豊後ノ東口。嵯峨ノ關ト云フ。土人ハ唯セキトモ云フ。我日田ハ。豊後ノ尤西ニアリ。日田ノ尤西ノ關村ト云。蓋往古嵯峨ノ關ト。東西ニ並ヒタル地ナラン。郷人杜蓼洲ハ博物ノ人ナリ。余日田ノ關ハ何々ノ關ト云フヤト問ヒシニ。不

知ト云ヘリ。今案スルニ。夜闌ナルヘシ。又我郷ニ夜明ノ里トテアルヨシ。古老云傳ヘタリ。然レハ夜明ノ關カ。西山祚五郎曰。朝顔夕顔ト云フ花アルニヨツテ。近時晝顔ト云フ物アリ。中ノ關ノ類ナルヘシ。

一余カ郷津江ハ。深山幽谷。他國ノ人ハ。往來セサル地ナリ。長谷部信連。曾テ住セシ處ナル由。今モ其子孫往々アリ。史ニハ見ヘサレズ。平家ノ時津江ニ配セラレ。頼朝ノ時召シ出サレテ。備中井原ノ莊ヲ賜フト云ヒ傳フ。又曾テ筑前佐田郷内ノ兔耶ト云フ高山ヲ探リシニ。實ニ絶險ノ地ナリ。其側ニ一小落アリ。郷民阿部姓多シ。其人ニ問ヒケレハ。阿部宗任ノ子孫ニテ。宗任住セシヨシ。又津江ノ某寺ノ庭ハ。梶原景時築キシヨシ。是ハ頼朝富士ノ牧狩シ玉フ時。景時ヲシテ其故實ヲ阿蘇大宮司ニ問ハシメ玉フ。其途中憩ヒシ時。築キタルヨシ。余其庭ヲ觀タリ。是等ノ事口碑ノミニテ。書ニ見ヘス。内ニ眞僞アルヘシ。唯異聞ヲ弘ムルノミ。

一嘉永癸丑ノ夏大旱ニテ。宇治川上流。水カレ奇巖現ハレ出ツ。十月中旬ニ。余鼎金城ト探リシハ。瑣事録ニ詳ナリ。菅茶翁ノ隨筆ニ。明和庚寅ノ大旱ニ。宇治川ヲ小兒徒涉リスルホトニナリタリ。其前彗星現ハル。占者ハ洪水ノ兆ト云ヒシカ。却テ大旱ニナリタリト載セタリ。今度モ。夏晩ヨリ彗星出テタリ。

一造物ノ不可思議ハ。重キ疫疾ニカヽリテ生クル者ハ。平生ノ沈痼必愈ユ。安政丁巳正二月。風邪大ニ行ハル。京坂ヨリ以西。山陰山陽九州一圓。傳染セサル者ハ。萬人ニ一人モナシト云。然ルニ此病ヲ經テ。頭痛留飲疝氣等ノ持病アル者。多ク愈エタリ。然レハ此流行病。人身中ノ久毒ヲ驅除スルノ一方ト見ヘタリ。

一天ノ物ヲ生スル。既ニ其形アレハ。必ス其性アリ。譬ヘハ。鳥ハ畫出テ。鼠ハ夜出ツ。蝙蝠ハ鳥ノ翅ニテ。鼠ノ體故ニ。晝ナラス夜ナラサルノ間ヲ以テ。黃昏ト味爽トノ兩度ヲ。ソノ世界トス。因テ知ル人ハ萬物ノ靈ニテ。天地ノ良能ヲ鍾メタル物ナレハ。仁知ノ性ハ必ス有ルナリ。

一耳目。皆我ノ用ナリ。然ルニ耳ヲ貴ヒテ。目ヲ貴ヒス。其目ニ見タルヨリハ。人ノ言フコトヲ聞テ信ズルモノ多シ。是毀譽ノ人ヲ誤ル所以ナリ。

一耳ハ外ヨリ來ルモノヲ受ケ。口ハ己ヨリ出スモノヲ傳フ。耳ノ官ハ。心ニ先ツテ。外ヨリノ聲ヲ報シ。口ノ官ハ。心ニ後レテ。心ノ思フトコロヲ述フ。往年某侯。近臣ヲ以テ。外ニ住セシ士ヲ召シ玉フコアリ。今日八ツ時ト云フニ。翌日八ツ時ニ出タリ。君命ヲ等閑ニスルヲ以テ。差シ扣ヘテ申付ケラルニ。其人。使ノ者。明日ト申シタルニ違ヒナシト云フ。使ハ今日ト申シタルニ違ヒナシト云フ。一ハ間違ヘナルヘシト云ヒ。一ハ言ヒ違ヘナルヘシト云フ。因テ使ヒスル者モ。差シ扣ヘニ極マレリ。侯ハ學ヲ好ム人ニテ。コレ疑獄ナリ。願クハ一ニ決シタシト云フコニテ。諸臣ニ問ヒ玉ヘトモ。決セス。遂ニ余ニ命セラル。余判シテ。間違ヘナリト云フテ。其者ニ差シ扣ヘテ命セリ。

事終リテ後。其人余カ許ニ來ル。其言ニ。差シ扣ヘハ常ニアルナリ。必シモ深ク愧チス。先生ノ一言ハ。後世マテ公論ノ係ル所ナレハ。其所以ヲ聞キタシト云フ。余カ曰。是ハ吾子ト相手トノ論ナレハ。畢竟ハ耳ト口トノ論ナリ。心ニ君ヲ敬スルノ念アリテモ。耳ニ病ヒアレハ。今ト云フ。明ト聞クマシキニ非ス。聞キタリトテ心ノ過チニ非ス。過チハ。耳ニ止ルナリ。夫口ハ心ニアルコトヲ。外ニ通スル職ナリ。故ニ心ニ今ト心得タル上ハ。口ハ今ト云フヘキニ。口過リテ明ト云フトキハ。其過チ口ニ止マラス。其心口ヲ使フ能ハサルノ罪アルナリ。故ニ過チヲ耳ニ歸シタルトテ。此國ニ心ヨリ君ヲ敬セサルト云フ人アルニアラス。過チヲ口ニ歸スルトキハ。此國ニ心ニ君ヲ敬セサルユヘ。口ヲ使フ能ハサルノ人アルナリ。我ハ羈旅ノ臣ナリ。此國ニ君ヲ敬スルノ心足ラスシテ。口ニ言誤リタル人アランヨリハ。寧ロ君ヲ敬スルノ心アレハ。耳遠クシテ。聞達ヘタル人アレカシト。故ニ口ヲ罪セスシテ。耳ヲ罪セリ。是此國ノ地位ヲナスナリト云フ。其人悦ヒテ。先生忠厚ノ意。我心服セリト云フ。

一或ル書ニ。人一呼ニ脈行クコト三寸。一吸ニ脈行クコト三寸。一晝夜ニ一萬三千五百息。脈行クコト八百一十丈。知ラス果シテ然ルヤ。モシ人カクノ如クナラハ。水モ定メテ此ノ理アルナラン。

一人身ハ小天地ニテ。其カラクリ絶妙ナルコト。不可思議ナリ。耳ト目トハ。一官而シテ雙職ナリ。是外ヨリ來ル聲ト。形トニ應スルノ要職ユヘ。副ヲ用フルナリ。左右ニ分ルモ。其主トスル處ハ。

常ニ時刻ニ隨テ交代スルナリ。鼻ハ外ノ香ヲ嗅キ。又内ノ氣ヲ通シ。口ハ聲ヲ發スルト。食ヲ入ルハ。トノ二職ヲ兼帶スル故。外ハ一ナレトモ。内ハ二管ヲ具シ。且其管ヲ深クシテ。外ニ蔽ヒテ設ケタリ。又陰具ハ。小水ト精液トノ二職ヲカネタリ。故ニ亦外ハ一ニシテ。内ハ二管アリ。凡九竅百骸ノ理。上部ハ食ノ爲ニ設ケ。下部ハ色ノ爲ニ設ケ。是食色ハ性ト云フ所以ナリ。食ハ自ラ生スルユヘン。色ハ物ヲ生スルユヘン。自ラ生スルハ智ナリ。物ヲ生スルハ仁ナリ。智ハ入ルナリ。仁ハ出スナリ。故ニ知ル。智仁ハ天ヨリ受ケタル性ナルコトヲ。皆器ノ中ニ理ヲ寓シタル者ナリ。實ニ不可思議ト云フヘシ。

一人教ヘテ後知ルハ。眞ノ知ルニ非ス。人教ヘテ後惠ムハ。眞ノ仁ニアラス。今夫小兒。僅ニ生ルレハ。乳ヲ含ムコトヲ知ル。是入ルノ我ヲ活スヲ知ル。眞智ナリ。僅ニ乳ヲ飲メハ。即チ二便トナル。是出スノ物ヲ潤スナリ。眞仁ナリ。故ニ知ル。智仁ハ性ナリ。然シ智ノ活ルハ。既ニ乳ヲ嗜ムノ慾ヲ生シ。仁ノ潤スハ。既ニ色ヲ好ムノ芽ヲ生ス。是仁智ノ内ニ。慾既ニ備ハリタルナリ。是ニ於テ禮義ヲ以テ。智仁ヲ助ケ。慾ヲ制馭セサルヘカラス。慾ニモ公アリ私アリ。公ハ正ナリ。私ハ邪ナリ。公正ナルトキハ。慾モ亦道ナリ天ナリ。私邪ナルトキハ。慾ナリ人ナリ。克己復禮トハ。此ノ趨舍ヲ云フナリ。

一仁智ハ。性ナリ。天ノ命スル所ナリ。禮義ハ。智仁ニ付キタル慾ヲ壓ユルノ具ニテ。人ノ設ケタル

ナリ。天ニ非サルナリ。信ハ此四者ヲ長久スルノ道ナリ。夫子ノ民無信不立トハ。四者ヲ固ク守ルヲ云フナリ。仁義禮智信ヲ五性五常ト云フハ。漢人ノ私言ナリ。

一智仁ハ。易ノ所謂乾坤ナリ。六爻ヲ以テ言ヘハ。上ニ爻ハ天ナリ。是ヲ智ト云フ。下ニ爻ハ地ナリ。是ヲ仁ト云フ。中ニ爻ハ人ナリ。禮義是ナリ。信ハ陰陽各其位アツテ。移ラサルカ如シ。

一中庸ニ。智仁勇ヲ三徳ト云フ。是性ノ理ニ合ヘリ。後儒勇ト云フヲ愧チ。代フルニ禮義信ノ三字ヲ以テス。詳ニシテ當ラス。勇亦性ナリ。智仁ノ二ツ行ハレサル勢ヒアリ。是ニ於テ。自ラ勇ヲ生ス。勇ハ怒ナリ。人ノ教ヘテ怒ルハ。眞ノ勇ニ非ス。人始メテ生レ。乳セント欲シテ乳ナシ。所謂智窮スルナリ。是ニ於テ泣ク。乃チ怒ルナリ。二便通セント欲シテ通セス。所謂仁窮スルナリ。是ニ於テ泣ク。乃チ怒ルナリ。故ニ知ル。知仁窮シテ。而シテ勇生スルヲ。是余カ持論ナリ。一儒者難シテ曰ク。怒ルハ是怒ルナリ。勇ニ非サルナリ。智仁怒ト云フ熟字ハ如何ン。余カ曰ク。怒ルヲ勇ト云フハ。古言ナリ。其人曰ク。何ノ書ニ出タルカ。余カ曰ク。一怒安天下之民。是武王之勇也。孟子ハ僻書ニ非スト。其人甚タ悦ハス。

一天道必ス乗除アルハ。亦消長屈伸ノ理。幸トモ不幸トモ言ヒ難キヲ多シ。富メル者。多クハ懶惰ナリ。貧シキ者。多クハ精勤ナリ。富メル者。多クハ名ナシ。貧シキ者。多クハ名アリ。富メル者。多クハ壽ナラス。貧シキ者。多クハ壽アリ。其他智愚巧拙ノ類モ。多クハ富メルニ壽ヒ。貧ニ予フ。

是レ物ノ數ナリ。マ、貧クシテ而シテ懶惰。而シテ名ナク。而シテ壽ナク。而シテ愚。而シテ拙ナルモノアリ。是ハ夙命ニテ。孽業ト云フヘシ。其餘ハ十二八九ハ貧ナル方ヨシ。

一植物ノ理ハ。動物ト相反ス。猶水火陰陽ノ如シ。動物ノ頭ハ上ニアリ。植物ノ頭ハ下ニアリ。動物ハ。毀傷スレハ衰フ。植物ハ。毀傷スレハ暢ブ。動物ノ美觀ハ頭面ニアリ。植物ノ美觀ハ手足ニアリ。邦人植物ヲ。動物ニ視ヘテ。花ヲ鼻ト云ヒ。葉ヲ齒ト云ヒ。芽ヲ目ト云フ。的當セサルヲ多シ。花ハ乃チ陰具ナリ。動物ハ陰具ヲ以テ臭トナシテ。之ヲ藏シ。植物ハ陰具ヲ以テ香トナシテ。之ヲ現ハス。即チ相反スル所以ナリ。葉ハ落チテ又生スルヲ以テ。齒ニ比スレヒ。葉ハ髮ナルヘシ。芽ハ爪ナルヘシ。

一都會ノ風ハ。何事モ束縛シテ。規矩ニカナハシムル様ニスル故。天性ヲ失フテ。偉大蕃殖スルモノ少ナシ。畢竟ハ功ヲ急ニスルニヨルナリ。試ニ其徵ヲ引ンニ。浪華ノ北部梨子多シ。僅カ三四尺長スレハ。上ニ竹ヲ横ヘ。束縛シテ。棚ノ如クニスル故。其幹。圍ミ七八寸ニ過クルモノナシ。其實餘リ多カラス。數十百本ヲ并セテ。圃トナシ。糞ヲ入ル、ヲ。暫時モ懈ラス。併シ十年ヲ出テスシテ。木老テ實ナラサルモノ多シ。故ニ梨實ノ値。甚貴ク。美ナルモノハ。一顆百錢ヲ過キ。三十錢ヨリ以下ハ。酸硬食フヘカラス。安メテ五大洲ニモ。如此果實ノ貴キ地ハアルマシキナリ。我郷ナトハ。梨樹ハ絶テ手ヲ入レス。我家數本アリ。大サ合抱ヲ過キ。高サ三四丈。枝四方五六間ニモ跨

リ。其實ノナルコ。年々何百萬ト云フ數ヲ知ラス。此地ノ様ニ。値ヒ貴クハ。殆ント富ヲ致スニイタラン。總テ速ナルヲ欲スレハ。大物ナシ。都會ノ人モ亦然リ。八九歳ヨリ。嚴督シテ。手ヲ習ハシメ。書ヲ讀マシメ。算術ヲ學ハシメ。其他游藝マテモ授ケテ。十四五マテニ。田舎人三十歳位ノ取リマハシヲナス。悉ク神童ノヤウニ見ユレトモ。二十歳ヲ過キテハ。田舎人トカハルコナク。名ヲ成ス者ニ至リテハ。田舎人ノ多キニ如カス。是皆事ヲ急ニスルニ坐スルナリ。

一木ヲ接クニ。始テナリシ實ハ。至テ大ニシテ。後ハ年々ニ細小ニナルナリ。草創ノ時ハ。人才多ク。次第ニ少クナルモ。此理ニ同シ。

一京ノ人ハ細ナリ。大坂ノ人ハ貧ナリ。江戸ノ人ハ夸ナリ。京ノ人ハ矜氣多ク。大坂ノ人ハ殺氣多ク。江戸ノ人ハ客氣多シ。京ノ人ハ土地ヲ尊フ。其意ニ曰ク。江戸大坂トイヘ。皆田舎ナリ。スムハ都ニ如クハナシト。大坂ノ人ハ。富ヲ尊フ。其意ニ曰ク。公卿官祿高シト雖モ。貧シキカ故ニ。我輩ノ商賈ニ手ヲ下クル。世ノ中ニ。富ホト尊キ物ハナシト。江戸ノ人ハ。官爵ヲ尊フ。其意ニ曰。諸侯サヘモ貧シキ時節ナリ。貧ハ愧ルニ足ラス。質ヲ置テモ。立身ハスルカヨシト。是三郡人氣ノ異ナル所以ナリ。

一田舎人一タヒハ三郡ヲ觀サルヘカラス。京ヲ見サレハ。我邦ノ百王一姓。萬國ヨリ尊キヲ知ラス。大阪ヲ見サレハ。我邦產物多ク。舟楫便利ニシテ。萬國ヨリ富ミタルヲ知ラス。江戸ヲ見サレハ。

我邦ノ人口衆ク。諸侯幅濶シ。萬國ヨリ繁華ナルヲ知ラス。

一山。松樹多シテ。而シテ薑ヲ生セサルモノアリ。余主人ニ教ヘテ。多ク薑ヲ買ヒ。其根ヲ松間ニ捨テシム。數年ナラスシテ。薑ヲ生ス。或人間フ。公何ヲ以テ此術ヲ知ルヤト。余カ曰ク。二十年前。余郷ニ在リシトキ。庭上ノ松。僅ニ二三株。前年ハッ茸ヲ買ヒ。其根ヲ松根ニステタリ。翌年ハッ茸生セリ。其ヨリ考ヘ出セリ。ハッ茸ノ漢名ハ。未タ知ラス。雲伯ノ間ニテハ。藍タゲト呼フ。僅ニ傷ツケハ。藍色ヲナスヲ以テナリ。

一物類相制スル。獨リナメクジト。蛇ト。蛙トノミナラス。狼。馬ヲ喰ヒ。馬。熊ヲ制シ。熊。狼ヲ制スル由。又狼ハ茄子ヲ畏ルトキケリ。

一内ニ置シキ者ハ。必ス外ヲ飾ル。力ニ乏シキ者ハ。多ク其聲ヲ大ニス。人ヲ觀ルノ方。是ヨリ外ナラス。獨リ人ノミナラス。艸木モ。其花盛ナル者ハ。實多ク食ハレス。蛙ノ蛇ニ於ケル。蟬ノ螳螂ニオケル。皆聲大ナルモノ。力ヲ弱シ。小物ニテモ。天道ノ乘除アルコヲ知ルヘシ。

一有文事者必有武備。獨リ人ノミニ非ス。物モ亦然リ。虎豹ハ文ナリ。而シテ武アリ。犬羊ハ之ニ反ス。

一鰻鱺。冬泥中ニ蟄スルコ久シキ時ハ。泥ト化スルコアリ。往年江戸ニテ梅雨中。木場ノ渠口ニテ。網ヲ布ク者ニアヒ。何ヲ得シヤト問フニ。五六寸ノ鰻鱺數千アリト云フ。放生セントテ。悉ク是ヲ